



令和5年8月1日
北広島市保健福祉計画検討委員会
令和5年度 第1回高齢福祉部会 【資料1】

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の結果について

保健福祉部 高齢者支援課



○ 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

| | |
|---------|------------------------------------------|
| ①調査の目的 | 高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画策定にあたり、基礎資料とすることを目的 |
| ②対象者 | 65歳以上で要介護認定を受けていない市民の方3,000人 (無作為抽出) |
| ③調査基準日 | 令和4年10月1日 |
| ④調査実施期間 | 令和4年11月17日から令和4年12月2日まで |
| ⑤回収率 | 65.7% (回答者数1,970人) |



○ 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査（調査項目）

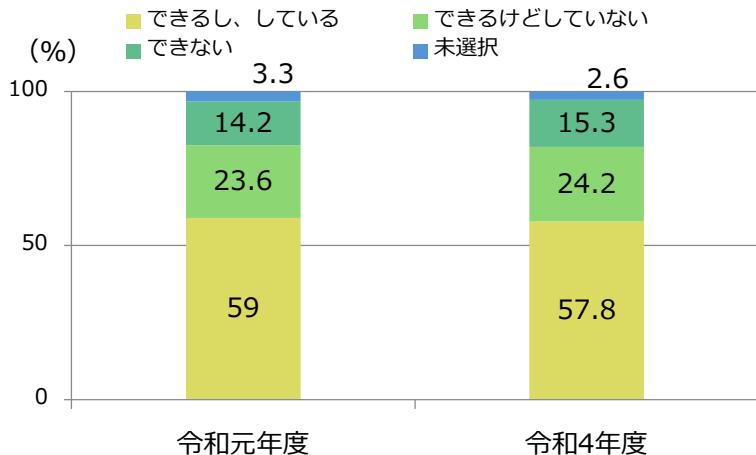
| | | |
|----------------------------|----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①質問項目数 | | 必須項目35問 オプション項目29問 市独自項目11問 |
| ② 設 問 の 内 容 | 「リスクの発生状況」 「虚弱」高齢者 を把握する項目 | <ul style="list-style-type: none"> ・運動器の機能低下 ・低栄養の傾向 ・口腔機能の低下 ・閉じこもり傾向 ・認知機能の低下 ・IADL/転倒リスク |
| | 「社会資源」等の把握 | <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア等への参加頻度 ・たすけあいの状況 ・地域づくりへの参加意向 ・主観的幸福感 等 |
| | その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・認知症にかかる相談窓口の認知度 |
| | 市独自項目 | <ul style="list-style-type: none"> ・きたひろ健康ポイント事業 ・耳のきこえについて |



○ 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査結果【必須項目】（運動機能の低下）

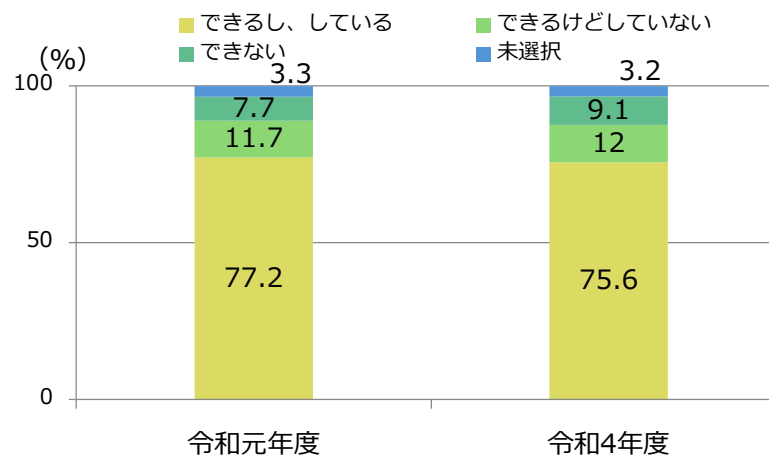
「階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか」

の回答割合



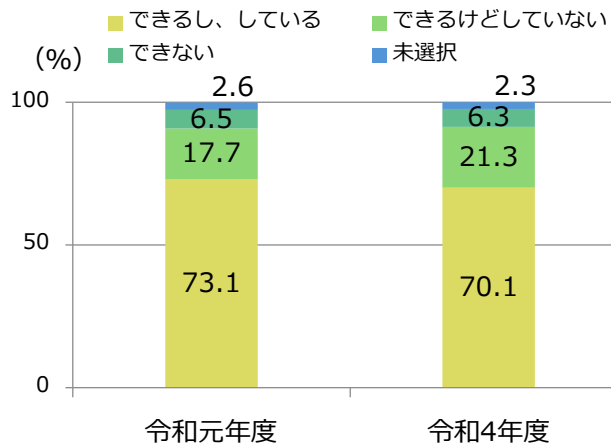
「椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか」

の回答割合



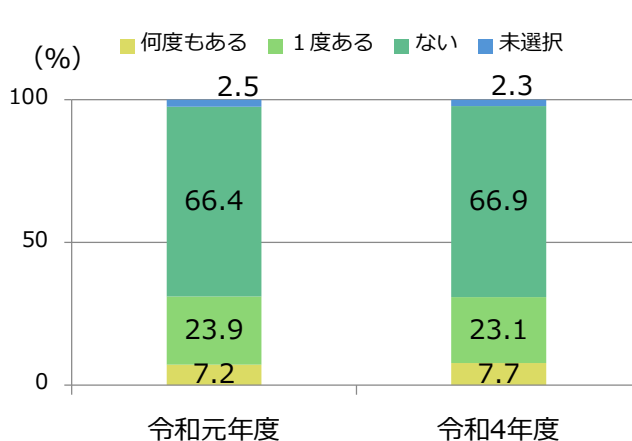
「15分位続けて歩いていますか」

の回答割合



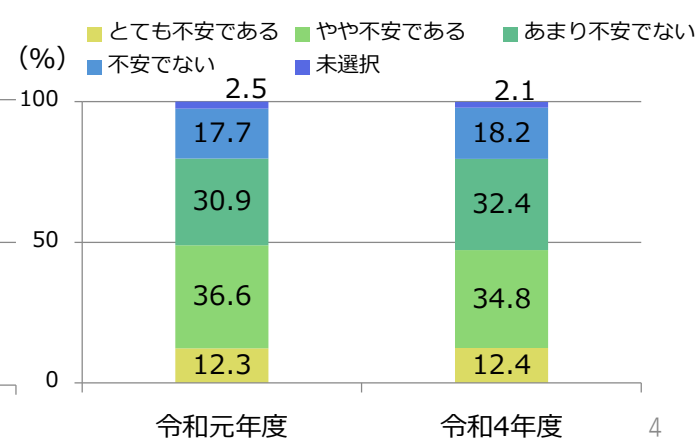
「過去1年間に転んだ経験がありますか」

の回答割合



「転倒に対する不安は大きいですか」

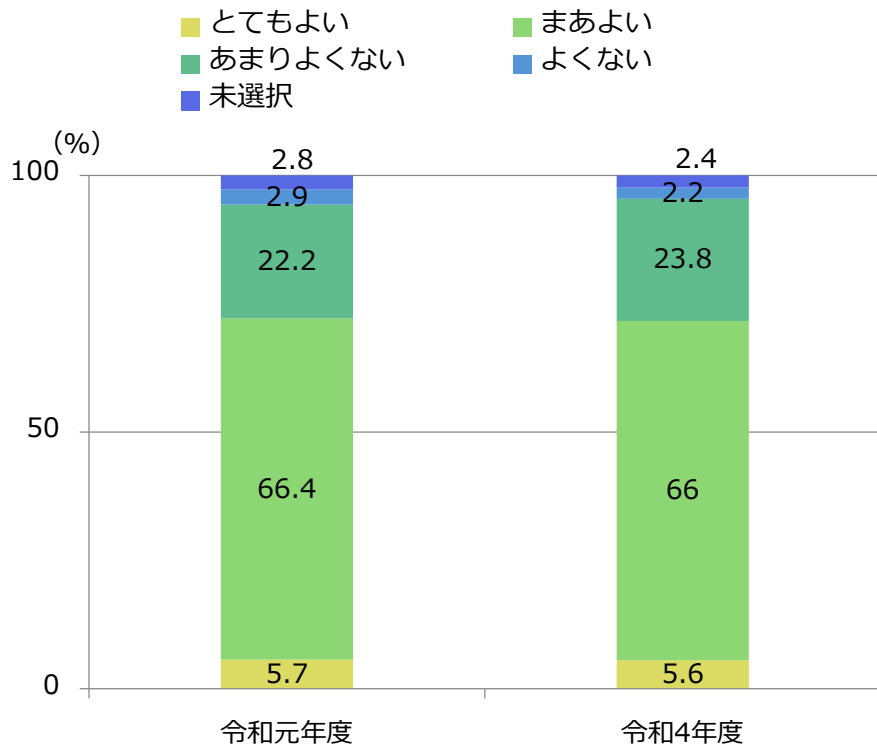
の回答割合



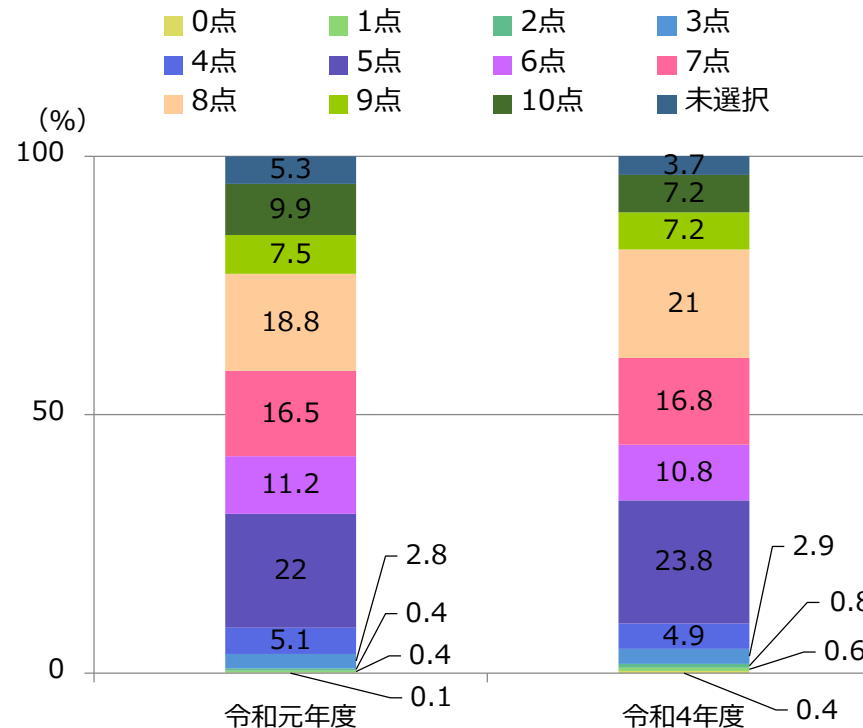


○ 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査結果【必須項目】（幸福度）

「現在のあなたの健康状態はいかがですか」の回答割合



「あなたは、現在どの程度幸せですか」（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）の回答割合



幸福度平均点

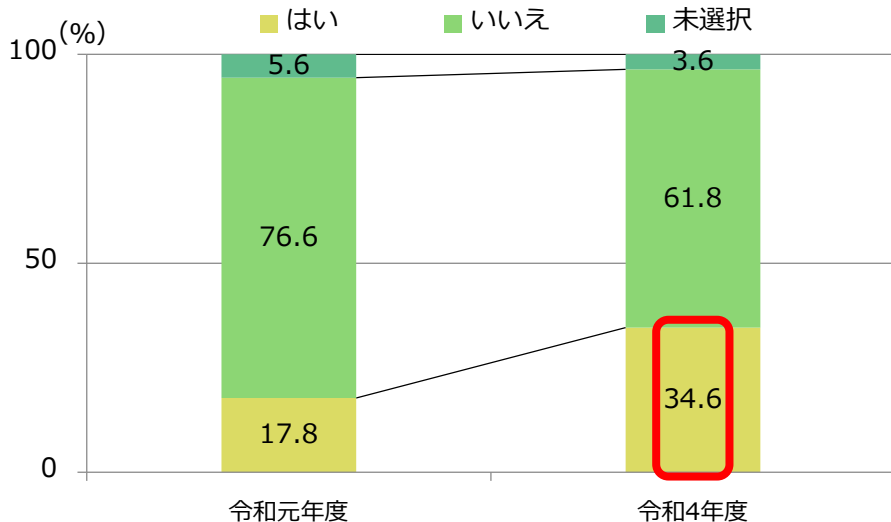
令和元年度 6.75

令和4年度 6.61

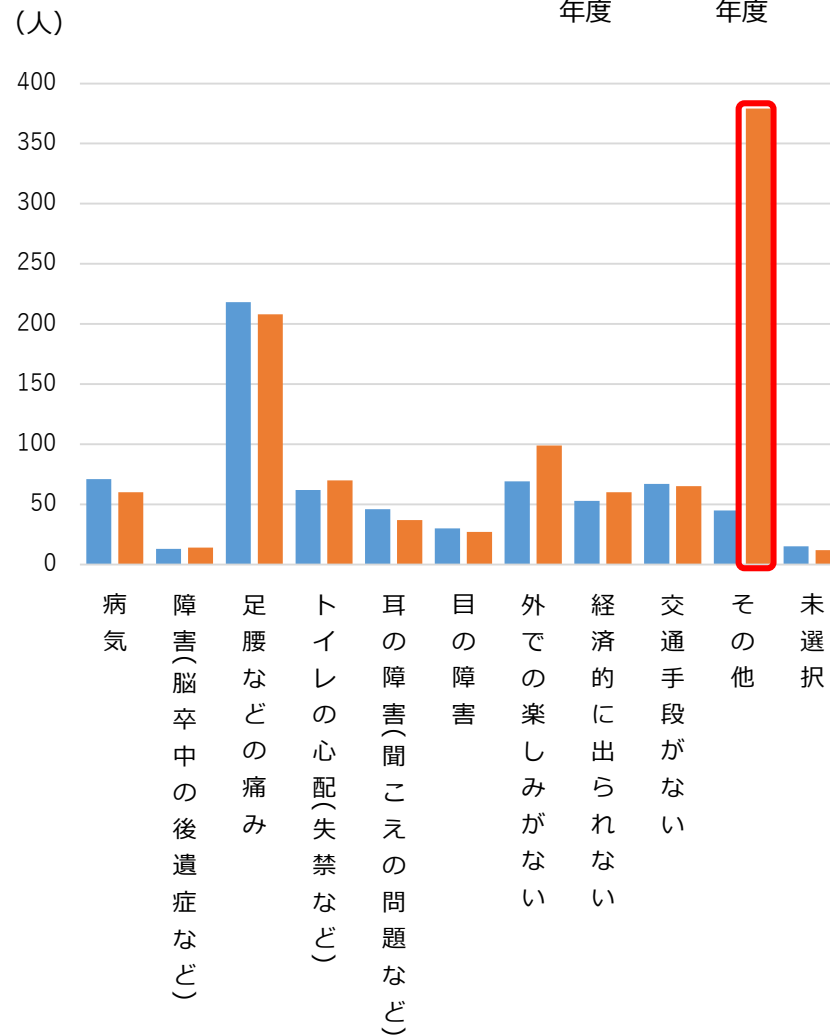


○ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果【必須項目】（閉じこもり傾向）

「外出を控えていますか」の回答割合

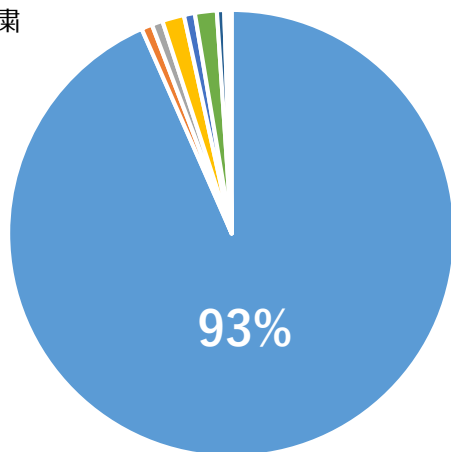


外出を控えている理由



外出を控えている理由「その他」の詳細

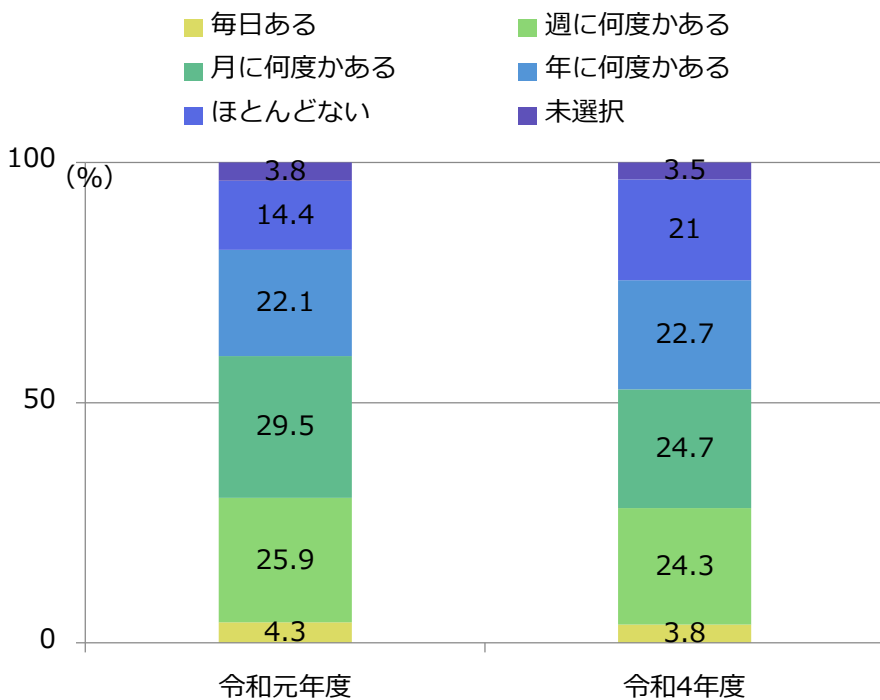
- 新型コロナによる外出自粛
- 親族の介護
- 気温低下
- ケガのリスク回避
- 負傷による
- 意欲がわからない
- 足腰筋力の低下
- 節約
- 免許返納



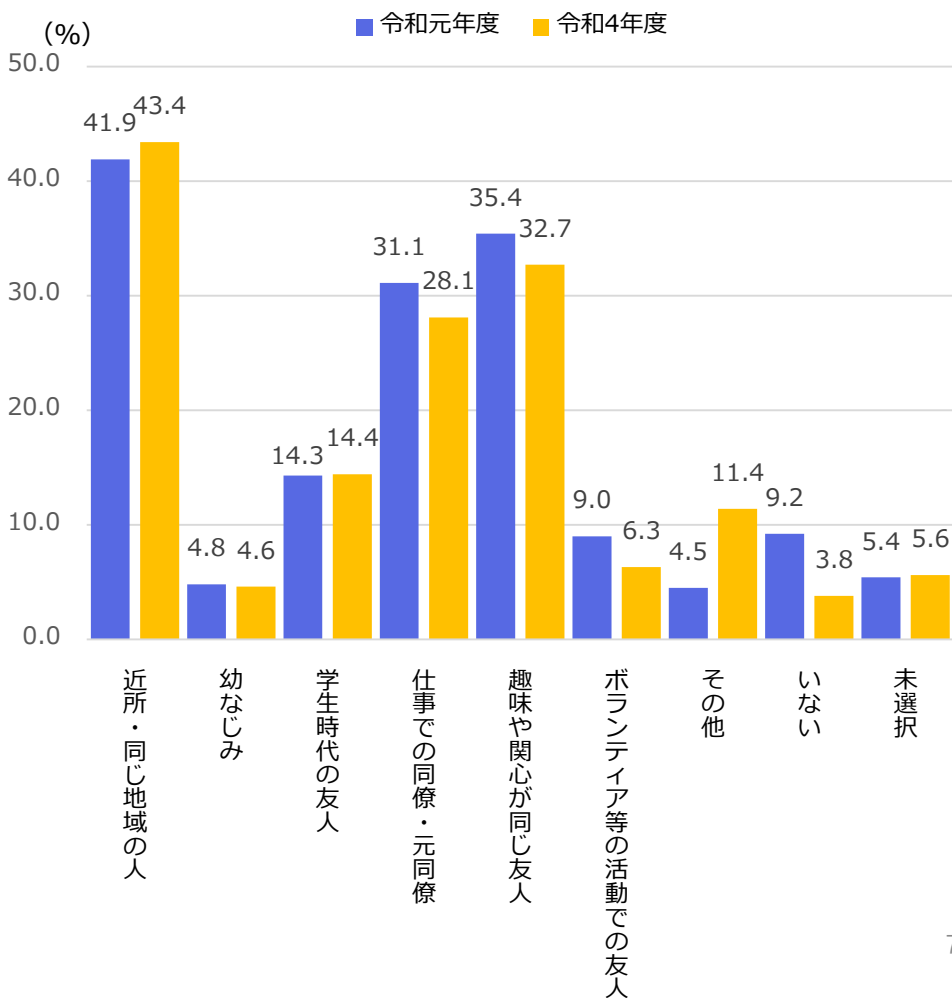


○ 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査結果【必須項目】 (たすけあい)

「友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。」の回答割合



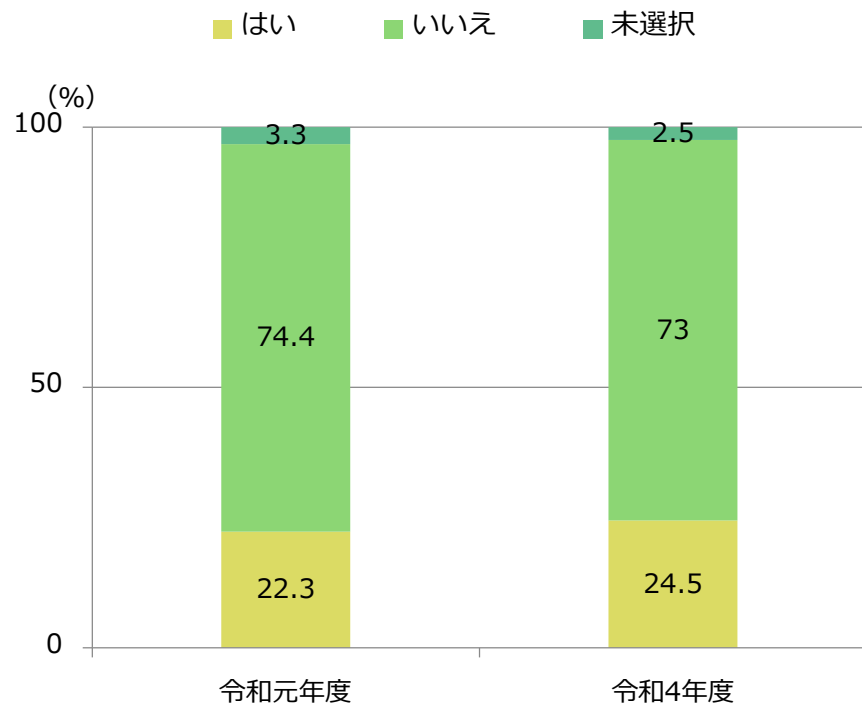
「よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。」の回答割合



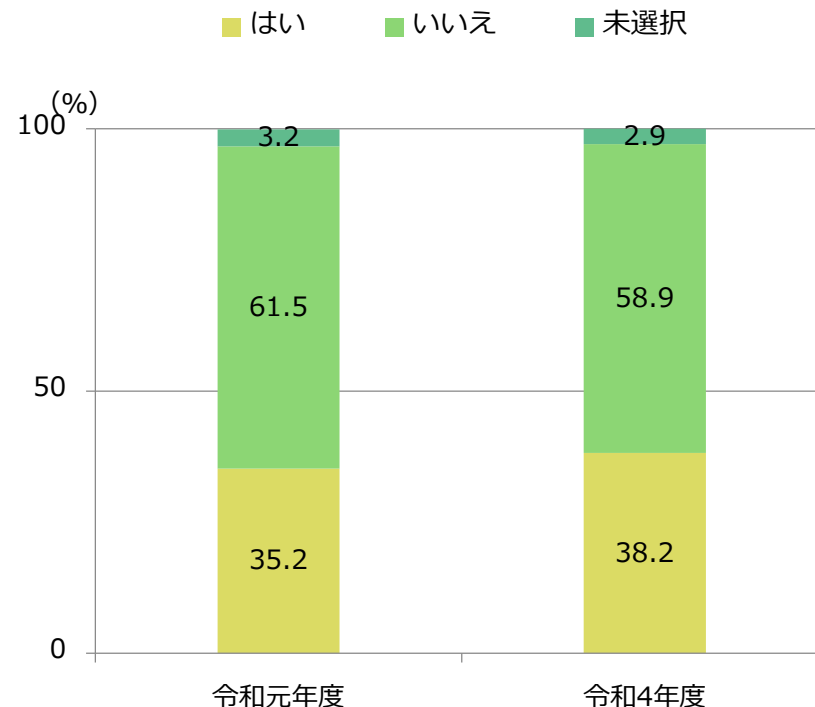


○ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果【必須項目】（うつ傾向）

「この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか」の回答割合



「この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか」の回答割合

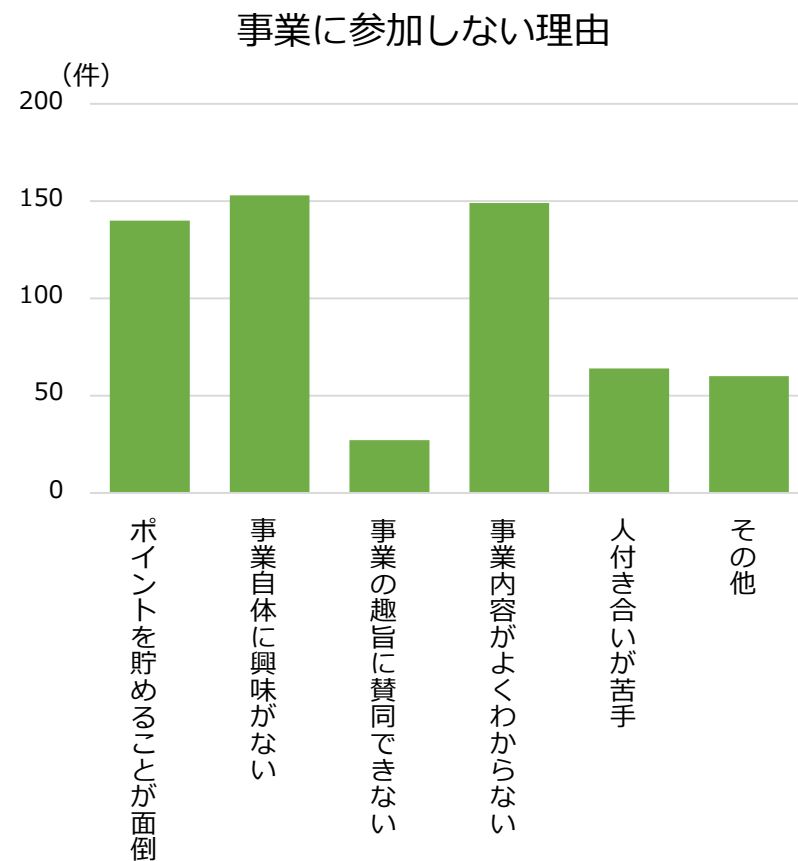




○ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果【市独自項目】（きたひろ健康ポイント）

問 令和4年4月1日から実施している「きたひろ健康ポイント事業」を知っていますか。

| 選択肢 | 人数 | 割合 |
|-------------------|------|--------|
| 知っていて事業を活用している | 304 | 15.4% |
| 知っているが事業の活用はしていない | 490 | 24.9% |
| 知らない | 1105 | 56.1% |
| 無回答 | 71 | 3.6% |
| 計 | 1970 | 100.0% |





○ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果【市独自項目】（耳のきこえ）

問① 最近耳が聞こえにくくなったと感じることはありますか（1つを選択）

| 選択肢 | 人数 | 割合 |
|--------|------|--------|
| よくある | 396 | 20.1% |
| ときどきある | 662 | 33.6% |
| ない | 854 | 43.4% |
| 無回答 | 58 | 2.9% |
| 計 | 1970 | 100.0% |



○ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果【市独自項目】（耳のきこえ）

問② 耳が聞こえにくくなった場合、補聴器の購入を検討しますか。または、すでに補聴器を使用していますか。（1つを選択）

問②

| 選択肢 | 人数 | 割合 |
|-----------|------|--------|
| すでに使用している | 155 | 7.9% |
| 購入を検討する | 647 | 32.8% |
| 使用しない | 856 | 43.5% |
| 無回答 | 312 | 15.8% |
| 計 | 1970 | 100.0% |

×問① 最近耳が聞こえにくくなったと感じるかの質問

| よくある | | ときどきある | | よくある・ときどきあるの合計 | | ない | | 無回答 | |
|------|--------|--------|--------|----------------|--------|-----|--------|-----|--------|
| 人数 | 割合 | 人数 | 割合 | 人数 | 割合 | 人数 | 割合 | 人数 | 割合 |
| 133 | 33.6% | 19 | 2.9% | 152 | 14.4% | 0 | 0.0% | 3 | 5.2% |
| 92 | 23.2% | 183 | 27.6% | 275 | 26.0% | 372 | 43.6% | 0 | 0.0% |
| 159 | 40.2% | 409 | 61.8% | 568 | 53.7% | 286 | 33.5% | 2 | 3.4% |
| 12 | 3.0% | 51 | 7.7% | 63 | 6.0% | 196 | 23.0% | 53 | 91.4% |
| 396 | 100.0% | 662 | 100.0% | 1058 | 100.0% | 854 | 100.0% | 58 | 100.0% |



○ 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査結果【市独自項目】（耳のきこえ）

問③ 補聴器を購入するために負担できる（負担した）金額の範囲をお選びください。（1つを選択）（※問②で「補聴器を使用している」「購入を検討」と回答した802人を対象）

問③

| 選択肢 | 人数 | 割合 |
|-----------|-----|--------|
| ～ 3万円 | 261 | 32.5% |
| 3万円～ 5万円 | 161 | 20.1% |
| 5万円～10万円 | 150 | 18.7% |
| 10万円～30万円 | 119 | 14.8% |
| 30万円～50万円 | 36 | 4.5% |
| 50万円～ | 20 | 2.5% |
| 無回答 | 55 | 6.9% |
| 計 | 802 | 100.0% |

×問② 補聴器の使用・購入について

| 使用している | | 購入を検討 | |
|--------|--------|-------|--------|
| 人数 | 割合 | 人数 | 割合 |
| 13 | 8.4% | 248 | 38.3% |
| 9 | 5.8% | 152 | 23.5% |
| 24 | 15.5% | 126 | 19.5% |
| 54 | 34.8% | 65 | 10.0% |
| 20 | 12.9% | 16 | 2.5% |
| 15 | 9.7% | 5 | 0.8% |
| 20 | 12.9% | 35 | 5.4% |
| 155 | 100.0% | 647 | 100.0% |



○ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果【市独自項目】（耳のきこえ）

問④ 補聴器の使用により、変化があった内容についてお選びください。（複数選択可）
（※問②で「補聴器を使用している」と回答した155人を対象）

| 選択肢 | 人数 | 割合 |
|----------------------|----|-------|
| テレビやラジオ等の視聴機会が増えた | 65 | 41.9% |
| 家族や友人等と会話を楽しめるようになった | 63 | 40.6% |
| 円滑に仕事を進められるようになった | 16 | 10.3% |
| 外出の頻度が増え、意欲的になった | 12 | 7.7% |
| その他 | 41 | 26.5% |
| 無回答 | 14 | 9.0% |

※その他の内訳

- ・ 肯定的な回答 7件（少しは聞き取りやすくなった等）
- ・ 否定的な回答 24件（効果が薄い、違和感がある、あまり変わらない等）
- ・ 未記入 10件



○ 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果【市独自項目】（耳のきこえ）

問⑤ 補聴器を使用しない理由をお選びください。（複数選択可）
（※問②で「補聴器を使用しない」と回答した856人を対象）

| 選択肢 | 人数 | 割合 |
|-------------------------|-----|-------|
| どのくらい聞こえが改善するかわからないから | 338 | 39.5% |
| 使用することがわずらわしいから | 263 | 30.7% |
| 高額だから | 159 | 18.6% |
| 補聴器の購入方法がわかりにくいから | 16 | 1.9% |
| 耳が聞こえにくいことを周りに知られたくないから | 15 | 1.8% |
| 外見が変わってしまうから | 14 | 1.6% |
| その他 | 264 | 30.8% |
| 無回答 | 65 | 7.6% |

※その他の回答

- ・今のところ聞こえるため。必要になったら考える。という回答が多数



○ 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査結果【市独自項目】（耳のきこえ）

問⑥ あなたは現在どの程度幸せですか（とても幸せを10点として0～10点のうち1つ選択）

問⑦ 運動機能の低下リスクについて「有」か「無」で区分（※調査項目を通しての判定）

問⑧ 認知機能の低下リスクについて「有」か「無」で区分（※調査項目を通しての判定）

問① 最近耳が聞こえにくくなった
と感ずることはあるか

×問② 補聴器の使用状況

| 選択肢 | 人数 | 割合 |
|---------|------|--------|
| よくある | 396 | 20.1% |
| 補聴器使用者 | 133 | 6.8% |
| 補聴器未使用者 | 263 | 13.4% |
| ときどきある | 662 | 33.6% |
| ない | 854 | 43.4% |
| 無回答 | 58 | 2.9% |
| 計 | 1970 | 100.0% |

| 二一ズ調査結果 | | |
|-----------|-----------------|-----------------|
| 問⑥幸福度 | 問⑦運動機能 低下リスク | 問⑧認知機能 低下リスク |
| 10点満点の平均点 | リスク有の割合 | リスク有の割合 |
| 6.57 | 19.9% | 59.3% |
| 6.57 | 19.5% | 53.4% |
| 6.56 | 20.2% | 62.4% |
| 6.46 | 12.4% | 50.5% |
| 6.75 | 8.1% | 32.4% |
| 6.48 | 17.2% | 34.5% |
| 6.61 | 12.2% | 44.0% |



○ 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査結果【まとめ】

【必須項目】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛、他者との接触機会の減少が顕著に表れた。
- ・他者との接触機会の減少により、うつ傾向にある者が微増している。
- ・運動機能の低下、幸福度については、前回調査からほとんど変化は見受けられなかった。

【市独自項目】

- ・きたひろ健康ポイント事業を「知らない」と回答した方が半数を超えている。
- ・耳が聞こえにくくなったと感じる方のうち、補聴器を使用している方は3分の1。
- ・補聴器購入の検討段階における想定金額より、購入時の金額の方が上回っているものと想定される。
- ・補聴器を使用しない理由として、「どのくらい聞こえが改善するかわからない」「使用することがわずらわしい」という回答が多く、「高額だから」と回答した方は、少なかった。
- ・補聴器を使用している方でも、6分の1の方は効果を実感できていない。
- ・「耳の聞こえ」と「認知機能低下リスク」において一定程度の関係性が見受けられる。